

愛西民報

2021年
5・6月
第66号

〔発行〕
日本共産党
愛西市委員会

真野和久議員
河合克平議員
加藤敏彦議員

09041984516
09083333481
09091223969

愛西市でも新型コロナ感染止まらず 市はPCR・抗原検査で感染ストップを！

愛西市の3月議会は、令和3年度予算、介護保険料の値上げなどを可決。日本共産党市議団（3人）は、コロナ対策などで奮闘しました。主な内容を報告いたします。

コロナ対策はワクチンとPCR検査で



元日本癌学会長の黒木登志夫さんは「新型コロナウイルスは、非常にずるがしこいウイルスです。その特徴の一つは、発症する前に、あるいは無症状で感染する。それで知らないうちに広がってしまふことです。このウイルスをチェックするにはPCR検査と抗原検査しかありません」と述べています。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種はもちろんです。検査体制を充実し、拡大を防ぐことが重要です。



愛西市長選挙

日本共産党推薦の松崎省三さん善戦健闘



4月に行われた愛西市長選挙では、選挙直前の立候補という条件のなかでも、善戦・健闘する結果でした。

松崎さんは、

- ①新型コロナウイルス危機対策最優先
 - ②小中学校統廃合を白紙にし、子育て教育最優先
 - ③市民のいのち・くらし・しごとを最優先
- の公約をかかげてたたかいました。

選挙後、『選挙中は、コロナ対策を訴えてこなかった日永貴章候補が、当選のあいさつで「まずはしっかりとコロナ対策をやっていきたい」と語ったことは、政策を訴えて、現職を反省させ、追い込んだことの結果であり、たたかった意義がありました。今後も市民のみなさん、日本共産党愛西市議団と協力し、力をつくっていきます』と語りました。

市議会3月定例会で、かとう敏彦議員は、集団感染を防ぐため、医療機関、高齢者施設、保育園、学校などの勤務者を対象とした「社会的検査」の実施と、一般市民を対象とした市独自の検査体制の確立をもとめました。しかし、市は、あくまでも社会的検査もPCR検査も実施する考えのないことを繰り返すだけでした。

新型コロナウイルス感染で市民10人がなくなりました。市民のいのちを守る市の責任を放棄する市政はゆるませません。

**令和3年予算
市独自のコロナ対策は無し**

令和3年度当初予算では、新型コロナウイルス感染症を抑止するための市の独自の予算が500万円ほどしか計上されていません。これでは、市民の命をまもるといふ市の役割を果たす予算とはいえません。

令和2年度新型コロナ対策費 使いきれず1億8千万円を基金に戻す

執行率の低い事業の見直し進まず
コロナ対策の給食費補助
市負担は2.7%

令和2年度の新型コロナ対策費は、事業継続支援費の信用保証料補助が96%、冬支度応援補助金が65%、農業担い手応援補助金が55%でした。年度途中で見直し、新たな対策をとるべきでした。



第8期愛西市介護保険料

コロナ禍でも値上げ、基金ためこむ

介護保険料
基本月額400円値上げ

第8期の介護保険計画で、4月から基本保険料を400円値上げになります。値上げ幅は、7.8%になり、消費税の値上げ分より多くなり、社会保障のため消費税を値上げしながら、負担増となることは許せません。

**令和2年度は
2億5200万円をためこむ**

令和2年度は、新型コロナ

による利用の抑制もあり、ためこみが進みました。



このためこみ基金を活用すれば、340円分下げることが出来ます。また、国からの調整交付金は、第8期では増額されることになったため、さらに100円を値下げすることが出来ます。

日本共産党市議団は、「値上げではなく、値下げすべきだ」と条例に、反対しました。

【市議会3月定例会】

愛西市の3月議会は、令和3年度の予算、介護保険料の値上げの条例を含む18議案が議決されました。

新型コロナワクチン接種

4億1200万円

令和2年度の補正予算では、新型コロナワクチン接種費用4億1200万円を令和3年に繰越しました。

集団接種会場は、8会場、個別接種ができる病院は15カ所になります。

4月19日から集団接種の予約がはじまり、年齢別に接種券が郵送されています。5月18日から

は、かかりつけ医などの個別接種の予約を受け付けます。



令和3年度予算

●自己責任強調する

冷たい予算

新年度予算は、自己責任を強調し、利用者負担を押し付ける予算となっています。ふとん乾燥サービスや緊急連絡通報の削減。高齢者タク

シーケットの行き先拡大も認めないなどの高齢者に冷たい内容です。

市独自の補助金の削減と値上げされた利用料はそのまま、文化協会やスポーツ協会の団体が減っています。

防災では、備蓄は十分でなく、自主防災会の補助金の増額は無し。戸別防災無線の設置も否定しています。

●公共施設の廃止と民営化を

いっそう進める予算

「選択と集中」による公共施設の廃止と民営化がいくつか進みます。佐織図書館の指定管理や、立田図書館の廃止が行われます。

市の職員は50人も減ります。市民の命をまもるため、災害時対応のためにも、市の職員は必要です。

整備費35億円の道の駅とその周辺の整備事業は、凍結し規模の見直しが必要です。

「教育と子育て

最優先の市政に転換を」

一般会計の基金(貯金)は167億円になり、市民一人当たり27万円と愛知県の市で2番目に多くなっています。この基金を使って、立田地区に大型事業を集中させるの

では、

小中学校の校舎の老朽化対策を緊急に進める

ことが必要です。



遅れているすべてのトイレの洋式化は急務です。臭い、つまる、古いトイレや体育館のトイレを早急に修繕するよう求めました。

給食費の無料化は、コロナ対策としても必要で、継続すべきです。また、一クラス35人学級は、三密をふせぐことにもなり、国県の計画をま

八開福祉センター 風呂を修繕、利用再開へ

休止していた八開社会福祉センターのお風呂が、修繕することになり、再開されます。

工業団地の交差点改良 中止に

12月議会の補正予算で可決された交差点改良は、今年1月に中止に。予定もたないのに令和3年度に予算を繰越

発達支援センターを建設

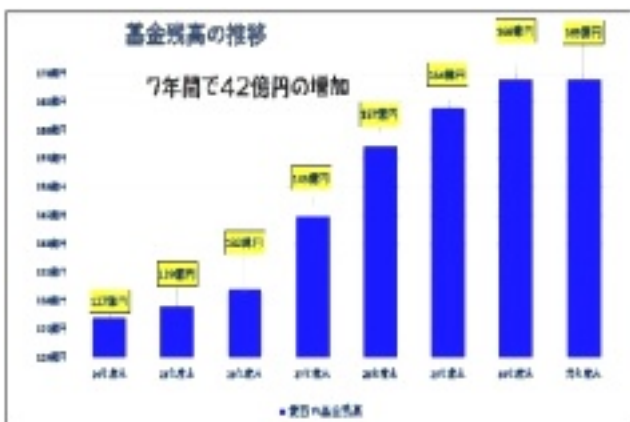
愛西市石田町に発達支援センターを新たに建設します。

日永市政8年間で問う



河合かつべい 議員

河合議員は日永市政の8年間の基金と借金の状況を確認しました。



日本共産党議員の一般質問から

核兵器禁止条約の

批准を



かとう敏彦 議員

かとう議員は50カ国以上が批准し、1月22日より「核兵器禁止条約」が発効に對し、国が批准すべきと考えますが、市長の見解を確認しました。

市長は愛西市も加盟する、平和首長会議で「市民ひとりひとりの日常生活の中で平和について考え、行動することを

小中学校施設老朽化対策の 早期実施を



まの和久 議員

まの和久議員は、「児童生徒が安全に学校生活を送るために早急に改修工事をすすめるべきだ。対策工事の期間や終了のめどを示すべきだ」と

まの議員は、老朽化対策と矛盾する学校統廃合案の撤回を求めましたが、市はあくまでもすすめる考えです。

教育部長は、まだ市の提言も出ていない状況で、「補助金などを活用しながらすすめてい」と答えました。

学校統廃合案は撤回を



愛西市の読者ニュースが毎週折り込まれます。お申し込みは共産党市議まで